

## そよかぜ学級図工(1 年)・算数(4 年)学習指導案

第 1 学年

第 4 学年

## 1 題材名

粘土で遊ぼう &lt;1 年図工&gt;

## 2 目標

- ・粘土で好きな物を作って遊ぶ。
- ・作り上げた物を飾って楽しむ。

## 3 指導にあたって

## (1) 題材観

入学して関心を示した教材の一つに粘土がある。手で触ったときの感触や自由に形を変えられる粘土の楽しさが気に入っているようである。油粘土は手や机が汚れやすいので、軽い紙粘土を取り入れた。

## (2) 児童観

知的障害を伴う自閉症児でまだ発語はない。学校生活には少し慣れ毎日元気に登校している。クレヨンやペンを使って描いたりすることにはあまり興味を示さないが、粘土は好み、お皿のような形を作りそれに色を付けたりして楽しんでいる。

## (3) 指導観

先ず教室で落ち着いて学習が出来るように、児童の興味関心をもとに教材作りをしている。粘土学習については自由な発想が出来るし、指先の訓練や気持ちの安定にも繋がると考える。

時々粘土を口に入れることがあるので気をつけて指導したい。

## 1 単元名

数えよう &lt;4 年算数&gt;

## 2 目標

- ・数に関心を持つ。
- ・数の意味を理解する。

## 3 指導にあたって

## (1) 教材観

この単元は、児童の発達段階に合わせて継続して学習している。学習内容は、10までの数を具体物・半具体物・数図・数字に関連づけながら、それを児童の興味関心に合わせた形で教材提示し、作業学習とも関連づけながら進めている。

## (2) 児童観

知的障害を伴う自閉症児である。単語はふえてきているがまだコミュニケーションは困難な状況である。また学校生活には慣れているが、今年度の環境変化に戸惑っている様子も見られる。数についてはその意味をまだ理解していないので生活の中でも繰り返し指導している。

## (3) 指導観

3 年生までの段階では、1対1対応や数字のマッチングなどが出来るようにはなったが、それは操作として出来たのでまだ数の意味は理解していない。今年度は今までの学習を基礎として、具体物を集合として数えたり、数の系列を作ったりする学習も取り入れ、数の意味を理解して生活の中でも使えるように指導していきたい。

#### 4 研究主題との関わり（互いに学び合い高め合う子をめざして）

4月から2人の学級がスタートしたが、初めはお互いに自己主張が強く激しいトラブルも見られた。しかし、日数を重ねるうちにお互いの存在を少しずつ受け入れてきて、譲る姿も見られるようになってきている。このような経験を重ねる事によって、人との関わり合いを学んだり、集団生活のルールを学んだりすることができ、高め合っていけると考える。

#### 5 指導計画と評価規準

##### < 1年図工 >

題材名	時間	学習目標	主な評価規準
粘土で遊ぼう ・好きな物 ・食べ物 ・生き物 :	年間を通して	・粘土で好きな物を作る。 ・粘土を丸める、つまみ出す、つけるなどしながら楽しんで作る。	想像したことを粘土で楽しく作ろうとしている。

##### < 4年算数 >

単元名	時間	学習目標	おもな評価規準
数えよう ・じゅんばん ・「1」～「5」 ・「6」～「10」 ・なんこ	年間を通して	数量の大きさを表すのに数を用いることを理解し活用できる。	個数を数えるのに数を用いる良さに気づき、数えようとする。

#### 6 本時の学習

##### < 1学年図工 >

##### (1) ねらい

- ・粘土で好きな物を作って楽しむ。

##### (2) 評価規準

- ・想像したことを自由に作ろうとする。

##### (3) 準備

紙粘土・粘土板・雑巾・タオル  
ナイロン袋

##### < 4年算数 >

##### (1) ねらい

- ・数に関心を持つ。
- ・「1」「2」「3」の数について理解する。

##### (2) 評価規準

- ・具体物、半具体物、数図などを対応させ数の意味を理解しようとする。

##### (3) 準備

おはじき・卵パック・フィルムケース・洗濯バサミ・カード・カップなど

(4) 展開

支援○と評価◎	学習活動	配時	学習活動	支援○と評価◎
<p>○学習に入る気持ちになるように挨拶する。</p> <p>○課題や名前を書いたプリントと同じ文字を書いたシールを提示する。</p> <p>○気持ちが活動の方に移るように腕まくりや粘土板などの準備を促す。</p> <p>○飽きないように時々粘土を丸めて手渡す。</p> <p>○作品を飾ってほめ満足感を味わわせる。</p> <p>◎心に浮かんだことを楽しんで作ろうとしたか。 (態度・作品)</p> <p>○整頓が出来るよう位置を決めておく。</p>	1 本時の学習を知る	5	1 本時の課題を知る。	<p>○始業のけじめがつくように挨拶をして学習にはいる。</p> <p>○10までの系列を確認するために繰り返す。</p> <p>○数詞を意識づけるためできるだけ声に出して学習させる。</p> <p>○手指の微細運動や目と手の対応もはかる。</p> <p>○「2」と「3」を混同しないよう半具体物や入れ物を変える。</p> <p>○児童の様子を見て無理強いはしない。</p> <p>◎数に関心を持って操作活動ができたか。 (態度・操作物)</p> <p>○学習が終わったら好きなことが出来ることを知らせる。</p>
	粘土で好きな物を作ろう	5	数の勉強をしよう	
	2 学習プリントに書いてある字と同じ字のシールを重ねて貼る。	5	2 おはじきを数えながら卵パックにいれる。	
	3 粘土の準備をする。	5	3 タイルを1個ずつケースに入れる。	
	4 粘土で自由に作る	10	4 洗濯バサミを数えながらつける。	
	5 付け足したりして大きくする。	10	5 ダイヤを2個ずつケースに入れる。	
	6 出来上がった作品を飾る。	5	6 ガラス玉を3個ずつカップに入れる。	
	粘土で作ったら楽しかったよ。	5	7 数図と数字をマッチングさせる。	
7 かたづける。	5	3個まで入れたよ。 順番に数えたよ。	8 かたづける。	